

## 平成 26 年度 研究成果報告書

### Research Achievement Report FY2014

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパ・アメリカ II 講座 (イタリア語)・特任講師
氏名 Name	CARDI Luciana
専門分野 Academic Field	比較文学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	現代日本文学におけるギリシア・ローマ神話
<p>本研究は、現代日本文学におけるギリシア・ローマ神話の扱われ方に焦点を当て、三島由紀夫、倉橋由美子、多和田葉子、村上春樹などの作品を検討し、日本文学における西洋の神話の改作について考察する。2014年度に本研究を進行し、以下の目的を達成することができた。</p> <p><b>比較文学シンポジウム</b> 2014年9月26日、比較文学シンポジウム「環流の比較文学のために一日英の環流から多国間の環流へ」において、三島由紀夫の戯曲における古代ギリシア悲劇について発表した。<b>発表タイトル</b>：「三島由紀夫の作品におけるエウリピデスの悲劇」、於：大阪大学。</p> <p><b>伊日研究学会</b> 2014年9月19日、第38回伊日研究学会（AISTUGIA）において、ヤマザキマリの漫画『テルマエ・ロマエ』における古代ローマのイメージについて発表した。<b>発表タイトル</b>：「『テルマエ・ロマエ』における古代ローマの描写」、於：レッツェ大学（イタリア）。</p> <p><b>言語文化研究科紀要『言語文化研究』第41号への投稿</b> 論文のタイトル：「Ancient Greece and Contemporary Japan in Mishima Yukio's Theater: <i>Niobe and The Decline and Fall of the Suzaku</i>」。『言語文化研究』第41号へ投稿した論文は『ニオベ』と『朱雀家の滅亡』に焦点を当て、三島由紀夫の戯曲における古代ギリシアの役割について考察する。これらの戯曲では、三島は古代ギリシアの神話や悲劇からインスピレーションを受ける一方、戦後日本における政治的な変化、社会的な転換、伝統的な価値観と新しい価値観の差異などに注目している。神話の枠組みを借用することによって、三島は現在と過去の差異を強調し、戦後日本の混沌とした現実に理想的な秩序を再現することを試みていると考えられる。本稿は、描写される現実と、演劇の枠組みとして設定された古代ギリシア神話の関係を明らかにした。</p> <p><b>ローマ日本文化会館における招待講演</b> ローマ日本文化会館の招待を受け、2015年3月17日にヤマザキマリの『テルマエ・ロマエ』に関する講演を行う予定である。タイトル：「『テルマエ・ロマエ』—古代ローマから現代日本への超現実的な旅」(Thermae Romae: un viaggio surreale tra antica Roma e Giappone contemporaneo)、於：ローマ日本文化会館。</p>	